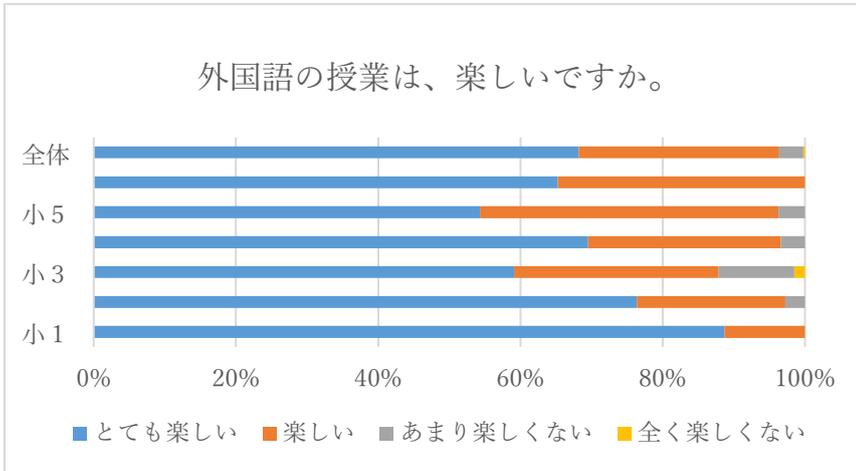


# 令和3年度外国語科に関する調査結果

天草市立亀川小学校

## 【児童へのアンケート結果より】

### (1) 外国語の授業は楽しいか。

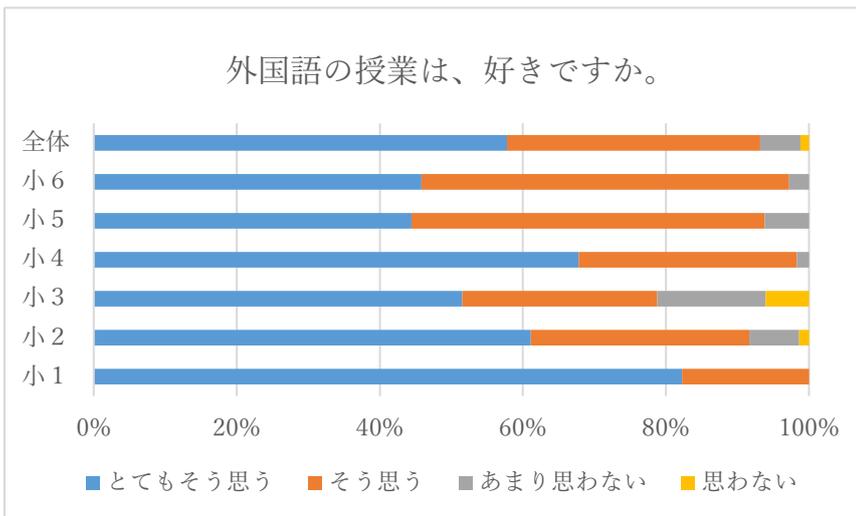


学校全体のうち約96%の児童が、外国語科の授業は楽しいと答えている。

児童がやってみたいと感じる単元のめあてを工夫し学習を進めている。

また、授業では、基本文の定着を図るために、ゲームだけでなくインタビューなどのやり取りや発表などの活動を取り入れ、楽しく意欲的に活動できる学習が展開されている。

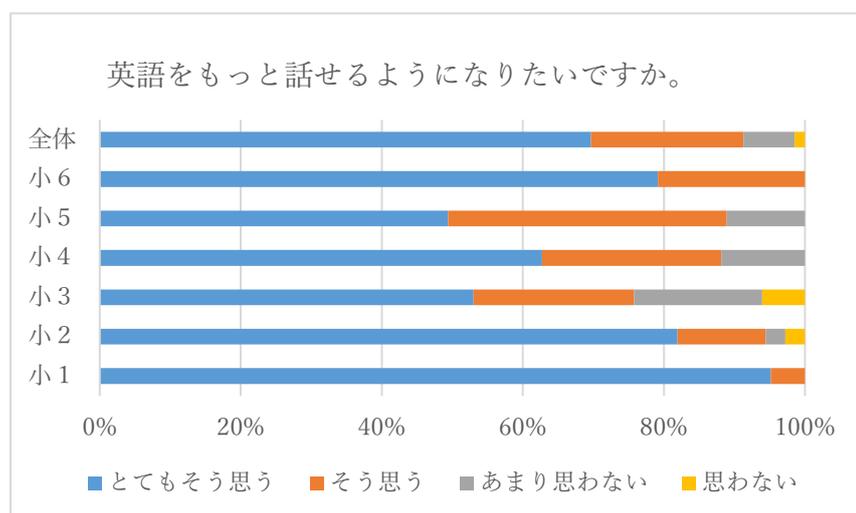
### (2) 外国語の授業は好きか。



学校全体の約93%の児童が、外国語科の授業は好きと答えている。

外国語科の授業では、帯活動であるコミュニケーションタイムやSmall Talkで教師やALT、友達と交流する活動や、歌やフォニックス、ALTによる文化紹介など様々な活動が展開され、児童の学習に対する意欲を高めている。

### (3) もっと英語が話せるようになりたいか。



学校全体の約91%の児童が、もっと英語を話せるようになりたいと答えている。

英語を使って教師やALT、友達と交流する活動だけでなく、校外のALTに自分の住む地域のよさを伝えたり、同じ中学校に進学する楠浦小の友達への自己紹介ビデオ作成等、体験的な活動を行ったりして英語で伝える喜びを感じている児童が増えた。

【保護者・学校関係者から】

- 家でもアルファベットの歌を歌ったり、動物や野菜を英語で言ったりして、楽しんで生活の中でも英語を使っています。小学1年生から外国語の授業があるのは、とてもありがたいと思っています。
- 外国語の授業でどんなことを学習したのか、家庭でもよく話してくれます。覚えてきた英語を教えてくれる発音がとてもいいので、どうやって覚えているのか尋ねると、担任の先生と英語指導補助の先生の発音を真似しながら覚えていると話してくれました。
- 小学生でも高学年になると外国語の内容が難しいと感じました。しかし、小学校のうちから英語専科の先生やALTの先生に指導していただいているので、恵まれていると思います。
- 小学校の1年生から外国語があり、低学年のうちから英語を聞いたり話したりすることを楽しみながら学習できているので、英語の苦手意識がなくなりました。
- 私たち大人とは違って、子供たちは外国の方々に会ったとき積極的に「ハロー」と英語の挨拶を交わし、会話をしています。そんな姿を見ていると、この子供たちが大人になってからも国際的に活躍できる可能性が広がるようで楽しみです。